

適用規格							
定 格	使用温度範囲	-35℃～ +85℃ (注1)		保存温度範囲		-10℃～ +60℃ (注3)	
	使用湿度範囲	20% ～ 80% (注2)		保存湿度範囲		40% ～ 70% (注3)	
	適合コネクタ	DF57H-4S-1.2C(##) DF57AH-4S-1.2C(##)		UL・ C-UL 定格 	使用温度範囲	-35℃～ +75℃ (注1)	
	適合端子	DF57-****SCF(##)					
	電 圧	AC/DC 50V			電 圧 電 流	AC/DC 29V	
電 流	AWG26～28 : 1.5A/pin AWG30 : 1.0A/pin AWG32 : 0.8A/pin AWG34 : 0.5A/pin		AWG26～28 : 1.5A/pin AWG30～34 : 1.0A/pin				
性 能							
		試 験 方 法		規 格		QT	AT
構 造	外観, 構造, 仕上げ	目視, 寸法測定器にて測定する。		図面と合致していること。		○	○
	表示	目視にて確認する。				○	○
電 氣 的 性 能	低電圧, 低電流下の 接触抵抗	20mV 以下, 1 mA (DC又は 1000 Hz) で測定する。		10 mΩ 以下		○	—
	絶縁抵抗	DC 100 Vで測定する。		100 MΩ 以上		○	—
機 械 的 性 能	耐電圧	AC 500 Vの電圧を 1 分間印加する。		せん絡・絶縁破壊がないこと。		○	—
	繰り返し動作	30 回の抜き差しを行う。		①接触抵抗: 20 mΩ 以下 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	総合挿抜力	適合コネクタで測定する。		差込力 24.0 N以下 引抜力 1.2 N以上		○	—
	耐振性	周波数 10～55 Hz, 片振幅 0.75 mmで 3 方向 各 10サイクル試験する。		①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
環 境 的 性 能	耐衝撃性	加速度 490 m/s ² , 持続時間 11 ms, 正弦半波 3 軸両方向 各 3 回試験する。		①1μs以上の電氣的瞬断がないこと。 ②破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	定常状態の耐湿性	温度 +40 ± 2℃, 湿度 90～95 %中に 96 時間放置する。 (室温に1～2時間放置後測定)		①接触抵抗: 20 mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 100 MΩ 以上 ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	温度サイクル	温度 -55 → 85℃ 時間 30 →30分 を 5 サイクル 試験する。 槽の移し変えは時間は2～3分 (室温に1～2時間放置後測定)		①接触抵抗: 20 mΩ 以下 ②絶縁抵抗: 100 MΩ 以上 ③破損, ひび, 部品のゆるみがないこと。		○	—
	はんだ耐熱性	【リフローはんだ付けの場合】 以下の温度条件で2回のリフローを行う。 リフロー部: ピーク温度250℃ 10秒以内 220℃以上 60秒以下 予熱部: 150～180℃ 90～120秒 【手はんだの場合】 はんだごて温度 350±10℃, 3秒の条件にてはんだ 付けを行う。 但し, 端子に力は加えないこと。		外観の変形及び端子等に 著しいガタがないこと。		○	—
	はんだ付け性	はんだ温度 245 °C, 浸せき時間 5 秒間の はんだ付けを行う。		はんだ浸せき面の95%以上が新しいはんだ でぬれていること。		○	—
備考							
(注1) 通電時の温度上昇を含む。							
(注2) 結露のないこと。							
(注3) 基板搭載前の未使用品に対する長期保存状態に適用。 基板搭載後、輸送時の一時保管は使用温湿度範囲を適用。							
	△の数	訂正記事		設計		検図	年月日
	1	DIS-H-00005763		HK. HAYASHI		SZ. ONO	20200220
試験規格の記載のない試験方法はIEC 60512(対応規格JIS C 5402)を 適用している。				承認	KI. AKIYAMA	20120522	
				検 図	HK. UMEHARA	20120521	
				担 当	TS. KUMAZAWA	20120521	
				製 図	MI. SAKIMURA	20120518	
注 QT: 確認試験 AT: 製品検査 ○: 適用項目				図番		SLC-343906-21-01	
	製 品 規 格 表			製品名		DF57H-4P-1.2V (21)	
	ヒロセ電機株式会社			製品コード		CL666-0106-2-21	 1/1